

# 釧路短期大学 道東文化塾2015

## — 東方社会の潜在能力と「知」 —

趣旨 道東地方の広い分野にわたって文化的意義をもつ事象の現状と問題点及び将来についての考え方を、それぞれの専門家の話題として楽しく提供してもらう

第1回 5月16日(土) 13:30~15:00  
寺島 敏治氏(釧路短期大学元非常勤講師  
・帯広市在住)

### 「別保原野、その市街地化」

く緑ヶ岡・武佐>の一带も含め、「別保原野」なる殖民区画地が設定されました。「釧路市内に釧路町別保の原野が?」。そうした疑問に、経過を語ってもらいます。

第2回 6月6日(土) 13:30~15:00  
名畑 英一(釧路短期大学教授)

### 「くしろふるさとカルタ考」

くカルタ>という伝統文化に、地域理解の内容と意義をかさねる取り組みが進んでいます。その背景にくわえ、くくしろふるさとカルタ>の魅力・可能性を提示。

第3回 7月4日(土) 13:30~15:00  
田丸 典彦氏(北海道教育大学名誉教授  
・釧路短期大学講師(非常勤))

### 「釧路地域における ギョウジャンニクの生育特性」

市民の関心事でも、その生態は説明されてきませんでした。ところが各地で調査がすすんでいます。山野の生息環境にくわえて実験栽培も試みる研究が進んでいます。

第4回 7月18日(土) 9:00~16:00  
佐藤 宥紹(釧路短期大学生涯教育センター長)  
エクステンションツアー in 尾幌川  
「現地を読む『北海道殖民区画地撰定報文・尾幌原野』  
&尾幌酪農ふれあい館での牛乳料理体験」

厚岸町の苫多本村は漁村、そこから上陸して開いた尾幌川流域の農場、その上流に国有林と炭鉱の集落。いま農場は酪農郷に転じ、そこで食文化継承の努力が続いています。

第5回 8月22日(土) 13:30~15:00  
前田 凉子(釧路短期大学准教授)

### 「糖尿病から腎臓機能の 低下を防ぐ食事について」

加齢も疾病も、避けたい。でも糖尿病一歩前の予備軍はかなり多いといわれています。さらに進まぬために、カギを握る食事を地域食材の活用をふくめて提示します。

第6回 9月12日(土) 13:30~15:00  
長津 詩織(釧路短期大学専任講師)

### 「地域で子どもを育てる — 世代を超えて交流する —」

子育てや保育を支える地域社会の力が、現在ますます注目されています。標茶町塘路地区をステージに、保育現場での調査・研究・実践から報告します。

第7回 10月3日(土) 13:30~15:00  
岡本 匡代(釧路短期大学准教授)

### 「北海道のジビエ、 エゾシカ利活用の最新」

くジビエ>はフランス語にして、狩猟による天然&野生鳥獣の食肉を意味します。欧州では貴族の伝統料理として発展してきた食文化。講義では北海道での取り組みを紹介します。

■会場：釧路短期大学講義室  
■募集定員：各30名  
■受講料：各回800円(第4回1,500円)  
一括申し込み4,000円  
■受付締切：5月11日(月)まで(定員締切)  
■お申込・お問合せ：  
釧路短期大学附属図書館 Tel 0154(68)5092

■本講座は、道民カレッジ連携講座《指定講座》\*・私立大学等改革総合支援事業「高齢者向けの生涯学習事業」に該当します

\*本講座受講により次のとおり単位が取得できます  
第4回の受講により必修1単位、もしくは「ほっかいどう学」コース6単位  
他6講座の受講により必修6単位、もしくは「ほっかいどう学」コース9単位

都合により内容に一部変更が生じる場合がございます。予めご了承願います